

令和4年度 浅間台地域ケアプラザPDCAシート\_公表用 (事業計画書、事業報告書、事業実績評価)

— 総括表 —	
◆ 事業計画	
<input type="checkbox"/> 地域の現状と今後の方向性	
・ケアプラザの役割をより多くの人に知ってもらい、子どもから高齢者まで利用しやすい身近な地域の活動拠点となるよう取り組んでいきます。 ・高齢化率も高くなっているため、高齢者が活躍できる場や認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指していきます。	
<input type="checkbox"/> 今年度の重点的な取組	
新規	継続
— 具体的な取組内容 —	
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 情報を共有しコロナ禍でも活動できることを大切に、認知症の人にも優しいまちづくりを目指し、多角的視点から課題抽出していきます。 (Nカフェ「認知症カフェ」の再開支援、地域ケア会議、一般・企業向け認知症サポーター養成講座の開催。キャラバンメイトエリア勉強会の充実)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 顔の見える関係づくりを大切に、相談機能等も含めたケアプラザの広報活動に努めます。また、利用しやすい施設を目指し、環境の整備等も行います。 (広報紙の発行、地域での清掃活動、出前講座、フードパントリー及び子ども食堂で西区相談窓口案内クリアファイル配布等で相談機能を啓発します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 地域資源の情報集約と情報提供を行っていきます。 (地域資源情報の更新・活用、地域活動一覧表の更新) 子ども関係では子育て連絡会及び子ども居場所作り検討会事務局として各団体の活動を毎月1回「みんなであそぼ」を発行して地域に情報提供します。Ayamuの一般公開に向けて地域資源を整備します。
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> にしろう健康づくり検討会の支援と介護予防の充実を目指します。 (にしろう健康づくり検討会の周知、社会参加への情報発信、新たな活動の創出 等) <input checked="" type="checkbox"/> にしろうづくり検討会の見直しを行い、地域での介護予防、社会参加、生活支援の充実を目指します。(地域見守り活動、つながりづくりの支援、地域サロンへ高齢者の社会参加、介護予防、居場所の充実)
<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 子どもから高齢者まで一人ひとりの活躍できる場をつくっていきます。 (ボランティア支援、多世代交流、ひとり親子ども支援の場の提供 など)
◆ 事業報告・事業実績評価	
<input type="checkbox"/> 振り返り	
・高齢者が活躍できる場や認知症になっても安心して暮らせるまちづくりを目指し、新たにキャラバンメイトと共にユマニチュード上映会、1月のNカフェの再開に向け活動しています。 ・顔の見える関係づくりを大切にしながら、ケアプラザの広報活動だけでなく、地域の拠点となる新たな住民活躍の場として「にこにこはうす」の始動へ向けた活動支援も実施しました。 ・子ども関係では子育て連絡会及び子ども居場所作り検討会事務局として毎月1回「みんなであそぼ」を発行し地域に情報提供を行いました。 ・Ayamuの一般公開に向け、地域資源を確認し情報を更新しています。 ・ボランティア活動について地域に広く呼びかけ、子ども食堂へのボランティアに繋げています。多世代交流では、子育て団体と共催で防災のイベントを行い、子育て世代や地域の方も参加していただく機会となりました。 ・4月より自主化したフードパントリーの主催団体の後援として協力し、ひとり親、子ども支援の場の提供を継続しました。	
<input type="checkbox"/> 区からのコメント	
コロナ禍で様々な制約がある中、地域ケアプラザ運営にご尽力いただき、ありがとうございます。 新たな地域の拠点となる「にこにこはうす」の始動へ向けた活動支援においては、地域住民の声を聞きながら丁寧に支援を進めています。引き続き、他機関と連携し地域住民と関係を更に深めながら、きめ細かな支援を継続していくことを期待します。 また、今年度も第五地区も含めた広報誌の発行を通し、地域ケアプラザ業務の周知等に努め、顔の見える関係づくりに前向きに取り組んでいます。また、子育て団体と協力し防災イベントを実施し、多世代に地域ケアプラザを知ってもらう機会の創出に努めました。次年度以降も、開催方法や内容を検討しながら多世代交流の取組が展開されることを期待しています。 引き続き、地域の身近な場での介護予防やサロンなど、見守り・つながりに向けた活動などの創出に向けて、地域住民との協働による地域づくりが一層推進していくことを期待します。	